

令和7年第3回南丹市議会9月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

- 1 -

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午前10時～	地域政策	二地域居住策の推進について	全国的に人口の減少が問題となっている。本市も例外ではなく人口動態予測を見ると2050年には2万人を下回る予想が出ている。そのような課題をふまえ以下2点を伺う。	市 長 担 当 部 長
			①人口減少率を緩やかなものにするには移住定住策の推進、関係人口や交流人口の増加が重要になると考える。本市の今後の方向性を伺う。	
			②昨年度、二地域居住推進制度が改正され、国としても制度の促進に努められている。支援法人の立ち上げ支援や民間との有効な連携など非常に魅力的な制度であると考え。本市でも取り組むべきものと考えるが、市長の考えを伺う。	
	防災	治山ダム下流水路について	治山ダム下流水路改修については、以前も質問を行った。これから台風シーズンを迎える事もあり、現在、どのような方向で改修が進められているのか現状を再度伺う。	
	通学環境	バス停の上屋設置について	本市には多くの私立・公立学校があり、大きな特徴でもあると考える。以前、学生の通学環境の改善のため、バス停の上屋設置の質問を行った。現在、どのように検討されているか再度伺う。	
		消防団	消防OB団員の活用について	
①本市の団員は、団員不足から永年勤続されたのち退団された方が多い傾向にあると考える。OB団員の年齢の条件等は考慮されているのか考えを伺う。				
②機能別消防団が担うべき役割とは。また、それに対する指揮・指導はどうなるのかを伺う。				
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午前11時～	危機管理	危機管理について	①9月に入ると自然災害が起きると思われていたが、現在は季節、時期関係なく起きている。本市における防災に関する基本的な考えを伺う。	市 長 担 当 部 長
			②政府が示した避難所基準は満たしているか。	
			③避難所運営で最優先事項は何か。	
	道路整備	市道及び広域農道管理について	①市道の維持管理の基本的な考えについて伺う。	
			②広域農道の維持管理とトンネルの照明(LED化)について伺う。	
	施設管理	日吉支所(現)の今後について	①現日吉支所は耐震基準を満たしていないために日吉生涯学習センターに移転することが決まっているが、今後の活用方法は。	
②支所には他に南丹地区保護司会のサポートセンターと定住サポートセンターが入居しているが、今後この2団体はどうなるのか伺う。				
日本共産党 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後1時～	まちづくり	合併20周年を迎えるに当たったの評価	市長は3月議会において「現状維持プラス何ができたか、というのが合併の評価の基準である」との認識を示されました。これを前提として以下のことをお聞きます。	市 長 担 当 部 長
			①「現状維持」の根拠となる「指標」は何か。何をもちて現状維持されているとするのか。	
			②20年前と比べて「現状維持」されているものは何か。	
			③「指標」に基づく本市での喫緊の課題に関する所見。	
		「企業誘致」の到達と評価、広義の産業振興	市長は3月議会において「園部、八木を中心にしっかり企業立地し、働くところをつくり、税も底上げしながら、それを全体で使っていくという流れを想定するしかない」との認識を示されました。以前から、積極的な企業誘致を展開されていますが、以下のことをお聞きます。	
			①本市における企業誘致の成果と現状への評価についての所見。	
			②農業、林業など伝統的なものを含む広い意味での産業振興への方策。例えば、各種産業振興と担い手づくりをどうするか。	
			行政組織	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後2時～	選挙	議員定数について	①財政健全化や行財政改革の観点から現在の定数に対する所見を伺う。 ②定数削減によるデメリットは少なく、本市施策に与える影響は低いと考える。執行部と議会の関係性、議会・議員の在り方等を、古い概念にとらわれずに改革を進めることにより、定数削減を実現させなければならない。市長の見解を伺うとともに、普段、庁内から感じられる定数に関する空気感について伺う。	市長
	過疎対策	南丹市過疎地域持続的発展市町村計画について	①令和5年度評価表について、計画の評価基準及び評価方法について伺う。 ②令和7年8月の計画となっているが根拠を伺う。 ③財源を確保するための重要な計画でありその大義は理解するが、本市全体として成果を求める意識が一番重要ではないか。見解を伺う。	市長 担当部長
	まちづくり	外国人居住者及び通勤通学者について	本市に住まれる外国人は増加しており、多くは市内企業の労働者であると推察し以下に伺う。	
			①市内企業の雇用状況及び今後の計画は把握しているか。また雇用先と連携した支援策を講じているか。	
			②本市への通勤通学者は移住者になり得る可能性があるのではないか。	
			③生活や教育サポート等、本市の受け入れ許容規模の想定はしているか。	
		新しい条例制定について	市内小規模零細事業者への積極的な発注を促し育てる条例、また持続可能な地域循環型農業を推進する条例を制定してはどうか。	市長
	行政組織	職員の配置及び役職定年について	①仕事量と人員のミスマッチが生じていないか。また適性を充分に見分けた人員配置となっているか伺う。 ②役職定年制がとられているが、人材不足の観点や適材適所の人員配置を促すためにも廃止すべきであると考えが見解を伺う。	
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後3時～	上下水道	上下水道事業について	新聞報道によると7月24日上下水道事業審議会が開催され、料金のあり方について諮問している市が説明した。審議会は具体的な改定策を9月まで議論し、市長に答申する予定と報道されていたが、以下の点について伺う。 ①上下水道事業審議会の開催状況や今後答申を受け、議会や市民への説明など今後の予定について伺う。 ②新聞報道では20%値上げとある。今後、審議会で議論されると思うが値上げ幅は確定か。又、値上げ時期についての考えを伺う。 ③京都府は水道事業の広域化を謳っている。令和5年第4回12月定例会において、市長は京都水道グランドデザインについて、経理事務や各システムなどの共同化に取り組める内容がないか調査研究を進めると答弁され、ハード面については難しいが、隣接市町と引き続き検討すると答弁されているが、今日まで他市町との協議がされたのか。協議されていればその内容について伺う。 ④国土交通省においては、6月25日に「上下水道政策の基本的なあり方検討会」の第1次取りまとめが公表された。人口減少が進む中、持続的な経営体制を構築するため、(1)単一市町村による経営にとられない経営広域化の国主導による加速化、(2)更新投資を適切に行い次世代に負担を先送りしない経営へのシフト、(3)官民共創による上下水道の一体的な再構築と公費負担のあり方の検討が謳われている。給水人口等の減少により今後、市単独の経営では厳しいと考えるが、市長の所見を伺う。	市長 担当部長
	まちづくり	国道9号整備改良事業について	7月29日会派つなぐ・公明党両会派で本市の国道9号について、地元選出国會議員、国土交通省の政務官、技監に要望活動を行い、要望書を提出した。要望内容は1. 観音バイパス事業化の促進、2. 吉富駅交差点改良事業着手、3. 八木駅前交差点改良及び歩道拡幅事業着手の3点について要望した。とりわけ、国土交通省技監から吉富駅交差点改良について、市として具体的な将来計画をはっきり描くことのアドバイスを受けた。技監からは、市にも同様に申し上げたということであったが、今後の吉富駅交差点改良事業について市長の考えを伺う。	市長
	財政	合併特例債について	令和7年度は合併特例債発行の最終年度であり、7年度予算において合併特例債による多くの事業が予算化され、執行されているが次の点について伺う。 ①令和7年度合併特例債発行残高が6,300万円であると聞が、今年度の合併特例債事業による増額補正予算で対応できるのか。又、対応できない場合の考えを伺う。 ②合併特例債の目的は、合併時に策定された「新市建設計画」に基づき、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉向上を実現するため、特に必要な事業に活用するとある。本年度合併特例債発行最終年度を迎えたが、合併から今日までの合併特例債の主な事業はどのようなものか伺う。 ③合併特例債の目的に沿った活用により本市の一体性、均衡ある発展や住民福祉の実現に寄与した財源であったと考えるが市長の所見を伺う。	市長 担当部長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 9月3日 午後4時～	農業	近年の農業について	①近年の異常気象により農業を取り巻く環境は厳しく、水不足や猛暑などの影響が懸念される。市長の見解を伺う。	市 長
			②吸水ポリマー等を使用した漏水対策について、市が情報共有を行い農業者が安定生産できるように取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
	商工	ふるさと納税について	③農業者人口が大幅に減少する中、米作りのコスト削減や省力化を図るため乾田直播など状況に応じた栽培方法が必要と考えるが、市長の見解を伺う。	
			①全国的に競争が激化しているふるさと納税で、寄附額が年々増加傾向にある。目標額の達成は大事であるが、そのための体制作りができているか市長の見解を伺う。	
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午前10時～	総務	今後の報酬改定について	②総務省から令和8年10月からの指定基準の見直しについて発表があり、影響は避けられない。この改正をポジティブに捉え寄附額を獲得できればと考えるが、市長の見解を伺う。	市 長
			①近年、人手不足による人材獲得競争が激化する中、報酬については、近隣市町の状況を注視しながら検討を重ねていく必要があると考えます。そのような中、本年は、人事院勧告による報酬改定があると伺っております。人件費にかかる部分については、国から一定の交付税措置があるものの会計年度任用職員に関しては、その交付税措置の割合が変わると聞いております。この点について市長の見解を伺う。	
			②消防団の報酬については、本年より年額報酬の改定をいただいた所であり、大変感謝申し上げます。そのなか、近年の風水害は、各地で甚大な影響を及ぼしており、災害対応にあたられる消防団員の皆様には、多大なご尽力を頂いております事に改めて感謝を申し上げます。そのような中、消防団員の出勤報酬についても様々な検討が進められていると伺っております。近年の風水害の状況も踏まえても来年度には、消防団員の出勤報酬を改定すべきと考えますが、市長の見解を伺う。	
	商工	企業誘致促進について	③自主防災組織や機能別消防団員の報酬についても今後検討していく必要があると考えますが、市長の見解を伺う。	
			①誘致企業の税収推移と実績について 市長就任以降、企業誘致に向けて様々な取り組みを積極的に進めてこられたこともあり、ものづくり団地 京都新光悦村は、現在では企業で埋め尽くされるほど立派な工業団地となっております。こうした誘致企業により、地元雇用の創出、税収の増加、地域産業との連携、地域経済の活性化、さらには人口流出の抑制、移住・定住促進にもつながっていくと考えます。そこで、誘致企業による固定資産税、都市計画税、法人住民税について市全体に占める割合やその推移を金額ベースと割合ベースの両面から示して頂きたいと思います。あわせて誘致企業における雇用数や企業数の推移と実績について伺います。	市 長 担 当 部 長
			②企業誘致の推進について 近年、立地を検討される企業が年々増加傾向にあると伺っている。こうした状況を踏まえれば、本市においても用地の取得や整備に向けた民間委託や官民連携による開発、さらには土地の先行取得などの取り組みを進め、企業誘致を積極的に推進していく必要があると考える。市の発展の為に、企業誘致を通じて地域産業の振興を図り、本市全体の発展へとつなげていくべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
			③産業誘致課の設置について 用地開発には専門的な知識と高度なノウハウが求められることから、各分野の専門人材を結集した企業立地推進課を新設する必要があると考えるが、市長の見解を伺う。	
			④戦略的な企業誘致について 目的を持った戦略的な企業誘致こそが、将来の地域産業の振興、さらには本市のまちづくりや発展につながるものとする。特に、農業・産業・商業・観光との連携を見据えた企業誘致を進めて行くべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午前11時～	福祉・医療	带状疱疹ワクチン定期接種の費用助成について	令和7年度から65歳以上の方などへの带状疱疹ワクチン予防接種が定期接種の対象になり、带状疱疹ワクチンを接種することで带状疱疹やその合併症を予防することができる。令和7年度の対象者は①令和7年度内に65歳を迎える方。②令和7年度内に70、75、80、85、90、95、100歳になる方および100歳以上の方。③60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方。この方々の接種費用の自己負担金は(1回当たり生ワクチン3,000円、組換えワクチン7,000円)となっている。そこで、対象者以外で50歳以上の方がワクチン接種した場合の接種費用について助成できないか、市長に伺う。	市 長 担 当 部 長
	上下水道	船岡浄水場におけるPFASの検出について	京都新聞によると南丹市は7月30日に採取した原水から発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)が1㍑当たり58ngが検出され、国暫定目標(50ng)を超えたと発表した。8月6日採水の再検査では目標値を下回った。上下水道課は「浄化後の水は目標値未満で安全を確認した。府保健所と原因を調べたい」としていると掲載されていた。その原因と調査結果について伺う。	
	行政	ジェンダー平等について	千葉県九十九里町では、ジェンダー平等の観点から、婚姻届の記入例を改訂し、結婚後に夫か妻のどちらか一つの姓を選ぶ項目の夫の氏にチェック印がつけられていたのをなくした。本市においても同様に婚姻届記入例を改訂すべきであると考えられるが見解を伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後1時～	厳しさを増す 市民生活の 応援	物価高騰から市民生活を支援する施策の実行	市の財力を市民生活応援、市民要求実現に振り向けていくことが急務。	市 長
			①水道料金体系を見直し市民負担の軽減をはかっていく。	
			②介護保険料の負担軽減へ施策の検討を。	
			③ゴミ袋料金引き下げを衛生管理組合に求める。あわせて、袋の形状、材質の点検を求める。	
		子どもの貧困実態調査をあらためて実施	子どもの貧困実態調査をあらためて実施し、子育て世代支援を早急に具体化実施するよう求める。	
		最後のセーフティネット生活保護の運用	生活保護基準は、社会保障制度の物差しとなっており私たちの生活の土台。光を当てていくことが大事。	
			①制度の案内をより適切で親しみやすいものにしていく。	
			②南丹市の捕捉の現状をどう評価しているか。	
			③通院移送費の漏給がないかどうか。チェックを求めたい。	
	市役所・支所の 利便の維持	16時30分閉庁の10月本格実施は延期を	学校体育館、災害時等の避難所に空調設備を設置することは「お金がない」「ある」の次元を超えた課題になっている。ただちに決断を求めたい。	
			①庁舎の開庁時間は市民サービスの要。16時30分閉庁に市民の理解が得られているとはいえない。17時まで開庁すべきである。	
つなぐ 小中 昭 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後2時～	交通	市営バスダイヤについて	①JR西日本のダイヤ改正時期である3月・10月に合わせ、市営バスダイヤの改正がされてきたと思うが、今年10月のダイヤ改正はあるのか。	市 長 担 当 部 長
			②市営バスのJR和知駅への乗り入れは、大野ダムで京丹波町営バスとの乗り換えで運行されてきたが、本年4月から土曜日は京丹波町営バスが大野ダム～和知駅間を運行されなくなり、9月までの間は民間バス会社が運行されている。今後の対応について伺う。	
		府立支援学校通学バスについて	美山町から府立支援学校へ通学するため原公民館下まで送迎されているご家族がある。約15km(約20分)の間を送迎されている方もいらっしゃる。一方、美山小学校への通学児童は家からすぐ近くのバス停からの乗降車で通学しているのも見受けられる。不公平と感じるが、是正できないか伺う。	教 育 長 市 長
	観光	南丹市の観光について	①本年3月21日に南丹市観光協会がスタートした。南丹市美山観光まちづくり協会(美山DMO)も各観光協会も設立の経緯等が違う。市観光協会と美山DMOの関係について伺う。	市 長 担 当 部 長
			②2021年1月にベスト・ツーリズム・ビレッジの認証を受けた。3年で認定期間が過ぎたが、それでも優遇措置や期待があることと思う。今後も美山DMOを注視し支援をしていただくべきと考えるが、所見を伺う。	
	防災	土砂等のストックヤードについて	令和元年6月議会でも質問したが、土砂等のストックヤードについて伺う。災害時には、急速大型土嚢が必要な事態が多くある。平時から土砂等のストックが重要と考える。各町にストックヤードが必要と考えるが、市長の所見を伺う。	市 長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後3時～	教育	不登校支援について	①不登校児童生徒の推移と傾向はどうか。また不登校の要因についての分析と、支援策は。	教 育 長
			②小中学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置状況は。	担 当 部 長
			③教育支援センター(さくら)と各小中学校内に配置されている分室の利用状況はどうか。支援センターから学校へと復学する児童生徒の割合は。	
			④支援センターの支援員の人材確保、内容の充実についての課題はないか。	
			⑤不登校等の児童生徒保護者に対する相談体制は整っているか。	教 育 長
			⑥フリースクール利用の状況は。小中学校との連携はなされているか。	
			⑦不登校支援としてオンライン教育を活用していく見通しはあるか。	
			⑧「こどもカルテ」の内容と、運用状況は。	担 当 部 長
			⑨「こどもカルテ」の今後の見通しは。	教 育 長
		図書館(室)の開館時間短縮について	①図書館(室)の開館時間短縮について、具体的にどのような検討が行われているのか。	担 当 部 長
			②開館時間短縮による財政的効果の見込みはどの程度か。	
			③利用者、とりわけ放課後や仕事終わりしか利用できない方への影響はどう考えているか。	
			④他自治体では、公営図書館の開館時間延長や多様なあり方など、見直しがなされている。今回の開館時間の変更は逆行したものである。開館時間の短縮によるサービスの低下をどう補っていくのか。	教 育 長
			⑤文化・教育の基盤としての図書館の意義を踏まえた、今後の公共施設のあり方に対する市の基本的な考え方は。	市 長
新誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 9月4日 午後4時～	教育	本市の目指す教育について	①GIGAスクール構想は国策として2019年より進められ、コロナ禍もあいまって本市においても1人1台、ICT端末を配布したが、これまでの本市におけるGIGAスクールの成果と課題について伺う。	教 育 長 担 当 部 長
			②デジタル導入の教育先進国である北欧諸国では、成績低下や心身の不調が顕在化し、紙の教科書や鉛筆を使うアナログ教育に回帰する動きが見られる。GIGAスクール構想は国策であることから致し方ないことは承知するが、所見を伺う。	
			③本市教育の基本理念の一つに「持続可能な社会の創り手として学び続ける人材育成」とある。そのような人材育成には情操教育により、自己肯定感を育て、大きな志を持つための立志教育が必要と思料するが、所見を伺う。	
			④基本理念のもう一つに「地域の教育力の向上とふるさとを愛する心の醸成」とある。愛郷心を育む教育であるが、現状について伺う。	
	社会体育	スポーツ少年団の施設使用料免除について	これまで南丹市スポーツ少年団登録団体については本市の社会体育施設の使用料は全額免除であったが、令和8年4月1日以降は半額免除とする通達が各単位団になされた。指導者の皆様はボランティアで明日を担う子ども達の健全育成に全力で活動していただいている中、使用料全額免除の見直しは各単位団の運営に大きな影響を与える。多くの団体から見直しの取り止めの声が上がっているが、所見を伺う。	市 長 担 当 部 長
	消防	消防団組織の改編について	①来年度から消防団組織の改編や団員の処遇改善など、大きな体制変更が予定されているが、詳細を伺う。	
			②学生機能別団員の必要性について伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午前10時～	移住定住促進	マーケティング視点からの人口減少対策	①マーケティングの視点から人口減少対策を捉えると、既存市民は「既存顧客」、移住者は「新規顧客」と位置づけられる。一般に「1:5の法則」が示すように、新規顧客の獲得は既存顧客の維持よりも高いコストを要する。したがって、本市の人口減少対策においては、移住促進だけでなく、まず現に暮らす市民の定住促進を基盤とすべきである。本市として、既存市民のニーズをどのように把握し、施策に反映しているのか伺う。	市 長 担 当 部 長
			②移住候補者を新規顧客と捉えると、その層はUターン・Iターンといった行動パターンや世代、地理的背景、ライフスタイルなど多様である。したがって、まずセグメンテーションにより候補者を把握・整理し、そのうえでターゲティングとして重点的に取り組む層を明確にすることが重要である。本市として、このセグメンテーションからターゲティングへと展開する戦略をどのように描いているのか伺う。	
			③人口減少対策として移住促進を進めるにあたり、マーケティングの基本であるSTPの視点が有効である。すなわち、セグメンテーションにより移住候補者を細分化し、ターゲティングによって重点層を定め、ポジショニングにより他自治体との差別化を図り南丹市の強みを発信するという考え方である。本市として、このSTPの視点を踏まえたポジショニングをどのように定めているのか伺う。	
			④マーケティング視点からの人口減少対策においては、最終的に定めたポジショニングを一貫したメッセージとして市民や移住候補者に発信し、南丹市ならではの魅力を確立することがブランディングにつながる。さらにブランディングは、新規移住者への訴求だけでなく、既存市民の誇りと愛着を高め、定住促進にも直結する。本市として、この視点を踏まえ、南丹市を「選ばれるまち」とするためのブランディング戦略をどのように描いているのか伺う。	
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午前11時～	まちづくり	本市のブランド戦略について	①本市にとって最も重要なブランドは「南丹市」という市名であると考える。市長はよく「南丹波の南丹市」と「丹波」のブランド力について言及されている。「丹波」ブランドにこだわって市名を変更した丹波篠山市のように、市名を変更する可能性はないか伺う。	市 長 担 当 部 長
			②本市のキャラクターとしては、さくらちゃん、にゃん探など複数いるが、TPOによる使い分けなどされているのか伺う。	
			③他の地域との違いを発見することからブランド戦略は始まると考える。本市が他の地域に対して誇れるものは何か。本市ならではの特徴ある地域資源は十分に活用され、本市のブランド力向上に役立っているか伺う。	
		シティプロモーションについて	ブランド戦略を進めるためには、プロモーション活動に力を入れていく必要がある。シティプロモーションとしていろいろな事業に取り組んでいるが、どのように進んでいるのかわからなくなったものもあるのではないかと。例えば、「にゃんたん市プロジェクト」などは、最初に少しずついたために、仕切り直しになったと認識している。その現状について伺う。	
	教育	夏休み明けの通学路について	スクールバスの停留所周りの状況や徒歩で通学する子どもたちが通る通学路の状況については、夏休み中に草が伸びたりしているところもあるのではないかと。その状況と対応が必要な箇所等についてはどのような対応をされているのか伺う。	教 育 長 担 当 部 長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午後1時～	地方創生	「地方創生2.0」による本市の地方創生の取り組みについて	①「地方創生2.0」では、「若者や女性にも選ばれる地方」を重点項目の一つに位置付けている。定住促進対策で府内でも上位の移住者実績をあげているものの、若者・女性の市外流出は依然として止まらない本市において、若者・女性の定住の観点から、これまでの地方創生の取り組みをどのように評価しているか。また、今後の本市の地域創生において、若者・女性の定住を図ることが重要と考えるが、そのための具体的な対策はあるのか。	市 長 担 当 部 長
			②市の「第3期地域創生戦略」では、市の特色をいかした仕事づくりと企業誘致として、「サテライトオフィスの誘致」などを掲げており、若者・女性の定住が期待できる取り組みの一つと考える。その点で、ICTの利活用でサテライトオフィスによる地方創生の成功例と言われる徳島県神山町の取り組みはモデルになるのではないかと。神山町の取り組みを研究し、南丹市を活性化させるリーディング事業として取り組む考えはないか。	
			③「地方創生2.0」では「関係人口」を推進している。「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと(総務省)」で、関係人口を創出・拡大することで、地域の課題解決や活性化などを図ろうとしている。「関係人口」についての考えはどうか。また、本市の地方創生において、「関係人口」の取り組みを進める考えはあるのか。	
			④岐阜県飛騨市では早くから「関係人口」の拡大を図るべく市の外部の応援団「飛騨市ファンクラブ」を設立。その事業の一つに、市民のさまざまな困りごとの解決のために、市外のファンクラブ会員の力を借りる「ヒダスケ」というプログラムに取り組み、大きな成果をあげている。集落の行事等やコミュニティの維持、農作業などでの担い手不足など、南丹市の抱える地域課題の解決に向け、「ヒダスケ」の取り組みは大いに参考になると考える。導入に向けて検討する考えはないか。	
	福祉	福祉医療、重度心身障害老人健康管理事業の対応について	①「南丹市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正」等の可決以降、8月の実施までの間で、制度変更について関係者や関係機関に対する周知の取り組み状況はどうか。	担 当 部 長
			②現在までに寄せられた対象外となった方や関係者からの相談件数及びその内容はどうか。また、寄せられた苦情の件数及びその内容はどうか。	
			③制度の対象外とされた「非課税世帯」の態様は、世帯構成・扶養の状況によってそれぞれ異なることから、「非課税世帯の基準で一律対象外としてしまうことは無謀ではないか」との条例改正を審査した3月議会の所管委員会での指摘に際し、「その世帯がしっかりと生活を送っていただけるよう相談業務をしっかりとやっていきたい」との担当部長の答弁であった。個別・具体的な相談に対し、どのように対応したのか。	
			④多くの問い合わせや苦情が寄せられ、「課税世帯」といっても、非課税世帯とのボーダーライン辺りの方などには、重い負担となっている。相談で対応といっても、経済的な負担が軽減されることにはならないと考える。実施後の状況を踏まえ、市長としての所感と今後の対応についての考えを問う。	
	住民サービス	市役所・支所の開庁時間の短縮について	①市役所本庁・各支所の開庁時間を10月から9時から16時30分とすべく、6月から試行している。試行から3カ月過ぎたが、この間の状況をどのように総括しているのか。来場者とのトラブルなどの問題点や課題、短縮による成果はあったのか。	担 当 部 長
			②試行期間は、まだ一月あるが、10月からの本格実施の予定について、どのような考えなのか。	市 長
新誠会 仲村 学 (一問一答) 質問予定日 9月5日 午後2時～	鉄道	山陰本線の中速鉄道化について	山陰新幹線構想から山陰本線の中速鉄道化に向け、現在の園部～綾部間のルート変更をする話が一部で出ている。現在、具体的な計画は出ていないと思われるが、遠い将来の事とは言え、園部以北の利用者や住民にとっては看過出来ない問題である。今後の本市のスタンスについて伺う。	市 長
	道路	道路管理について	台風、大雪などの悪天候や老木が原因で道路への倒木で事故や電線の断線に因る停電などが発生している。また草木の成長で見通しが悪い、通行に支障が出るなどの苦情も多く聞く。予防伐採や草刈の回数を増やす、防草シートを敷くなどの適切な対策について伺う。	
	健康	暑さ対策について	近年は温暖化、沸騰化と言われ猛暑日が続き、熱中症患者が増加している。予防策としてエアコンを長時間使用する方は多いと思うが電気料金も高騰する状況である。最新の省エネエアコンへの買い替え補助について伺う。	
	教育	校内の防犯対策について	全国で教師による盗撮など児童を狙った卑劣な犯罪が相次ぎ社会問題となっている。本市においての研修や学習、防犯カメラ設置など校内の安全対策について伺う。	教 育 長